



写真:地面を掘るイノシシ幼獣 (撮影:平成24年11月12日)

「イノシシ」

霧島山を耕し続ける働き者

イキングをしていると地面を掘り返した跡を見つめます。中には一面畑のようになってしまったところもあります。

霧島山の大型哺乳類イノシシ。これからの季節は木の実や竹の子もなくなり食べ物を探すのが大変です。地中の根やキノコ、ミミズ、昆虫を探すために自慢の鼻で一生懸命地面を掘り返します。

彼らは臆病な性格のため、めつたに姿を見ることができません。しかし食べ物探しに夢中で人の気配に気が付かないこともあります。また、寝ているところに、人がそばを通り「ブフォツ」と鳴くのと同時に飛び起き、一目散に逃げて行くというようなハプニングもあります。基本的にはイノシシが逃げていきますが、ねぐらや幼獣に近づくと母親が向かってくることもあるので用心してください。

近年、イノシシやシカが害獣として扱われることが多くなりました。人間と野生動物とが上手に距離を取り合い、お互いに過ごしやすい霧島山になると良いですね。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

イノシシ
Sus scrofa

鯨偶蹄目 イノシシ科